

2017年 1月24日

発行：島根民医連 医系学生サポートセンター

Tel:0853-21-3360 Email:igakutai@gmail.com

## 奨学生会議 1/20(金) @出雲市民病院 松本翔子先生との交流 & 12月全国つどい報告会



1月の奨学生会議は3年生3名、2年生2名の計5名が参加しました。今回は、出雲市民リハ病院の松本翔子先生をお招きして、学生から研修医時代のお話を聞かせていただきました。その中でも、「医ゼミ」へ濃く関わるようになったきっかけが、医学生だけじゃない、様々な考え方を持った医系学生が集まって議論することで「自分の価値観が変わる体験」をしたことというのが印象的でした。先生から学生たちに向けて医ゼミの運営で人間関係の大変さを味わった経験から、大学生活では部活など先輩後輩の板挟みで大変だと思うけど頑張っ！と声をかけていただきました。

12月全国つどいは「障害者医療」をテーマに行われ、つどいに参加した学生から「障害者差別」は日本社会では歴史的に根深く、「優生思想」は自分も気づかないうちに持っていることに気付いたことや、「生きる価値」って何だろうとSGDで討論したことなどが報告されました。報告を受けた学生も障がいについて改めて考え、「いのちの平等」を実現するには社会の仕組みを変える必要がある、難しい問題であることが共有できました。これをきっかけに、障がいを持つ人たちにもより一層心を配ることができる医師を目指してもらいたいです。

### ★☆☆学生の感想☆☆★

- ⇒先生の民医連や医ゼミに対する考えを聞くことができ面白かった。
- ⇒様々な考えを持っている人と私も話合いたいので医ゼミに関わりたと思った。
- ⇒普段議題に上がらない障がいのことについて考える機会になった。社会が今の状態ならなかなか現状は変わらないかなと思った。
- ⇒初期研修の病院を念入りに考えたいと思う。学習会を通して社会との関わりを考えることは継続していきたい。
- ⇒先生の人間らしくてリアルな声が聞けて良かった。

